



正しい知識と事前準備を！ 侵襲性髄膜炎菌感染症

令和6年1月31日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

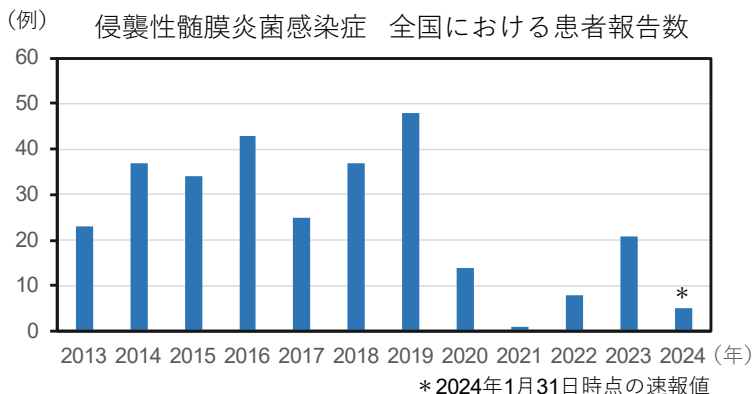
感染症発生動向速報

(令和6年第4週分・1月22日～28日)

《インフォメーション》

●侵襲性髄膜炎菌感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症 (IMD) は、髄膜炎菌によって引き起こされる感染症です。髄膜炎菌はヒトからヒトへ飛沫感染しますが、低頻度 (1%未満) ながら感染せずに鼻咽頭に保菌されていることもあります。潜伏期間は2～10日 (平均4日) であり、髄膜炎や敗血症を発症します。発熱、頭痛、意識障害およびけいれん等を伴い、重症化すると **Waterhouse-Friderichsen 症候群** (*1) 等に進展することがあります。発症率は低いものの、重症化リスクは高いのが IMD の特徴の一つです。多くの人が密集し、濃厚接触する機会のあるマَسギャザリング (*2) や集団生活は、IMD 発症のリスク要因とされています。国内では、過去に学生寮や大規模な国際的イベントにおいて IMD のアウトブレイクが発生しました。一方、富山県においては今月19日に、県内初のIMD症例が報告されました。



IMD は、2013年4月1日から届出対象疾患 (5類全数把握疾患) に位置付けられました。医療機関において IMD が診断された際には、その感染性の高さから直ちに届出をすることが求められています。全国の IMD 患者報告数は、年間20～40例程度であり、2020～2022年においては大きく減少しました (上図参照)。この報告数減少には、新型コロナウイルス感染症対策の影響が考えられています。

IMD 発症およびアウトブレイクのリスクが想定される際には、事前のワクチン接種が有効です。2015年に国内で主要な血清群 A、C、W および Y に対して有効な髄膜炎菌ワクチン (4価結合体髄膜炎菌ワクチン) が認可され、接種可能になりました。無脾症や脾臓摘出後、補体欠損症等のハイリスク者ではワクチン接種が推奨されます。また、IMD 患者の濃厚接触者にはリファンピシンあるいはシプロフロキサシンの予防内服が推奨されています。IMD は早期に探知し、正しい治療を実施することが重要です。

IMD 発症およびアウトブレイクのリスクが想定される際には、事前のワクチン接種が有効です。2015年に国内で主要な血清群 A、C、W および Y に対して有効な髄膜炎菌ワクチン (4価結合体髄膜炎菌ワクチン) が認可され、接種可能になりました。無脾症や脾臓摘出後、補体欠損症等のハイリスク者ではワクチン接種が推奨されます。また、IMD 患者の濃厚接触者にはリファンピシンあるいはシプロフロキサシンの予防内服が推奨されています。IMD は早期に探知し、正しい治療を実施することが重要です。

*1 急性劇症型で、副腎出血や全身のショック状態を呈する病型。

*2 特定の場所に特定の目的を持ってある一定期間、人々が集積することで特徴づけられるイベント。

《全数報告の感染症》

五類感染症 急性脳炎 1件 (第2週診断分: 70歳代、男性)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 (①70歳代、女性、A群 ②80歳代、女性、A群)

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 (70歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週 (増減)	先週
1位	COVID-19	16.71 (↑)	11.85
2位	インフルエンザ	16.56 (↓)	16.60
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.10 (↓)	9.59
4位	感染性胃腸炎	7.62 (↑)	5.86
5位	咽頭結膜熱	3.69 (↑)	2.14
6位	流行性角結膜炎	0.57 (↑)	0.29



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第4週 令和6年1月22日～令和6年1月28日）

分類	疾患	今週報告分（第4週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核							1	1		2	4	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1			1	
	四類感染症	レジオネラ症								1		2	3	
	五類感染症	急性脳炎									1			1
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	1	2			2	1	1	4
		侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	1				1	1	2
		侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1
侵襲性肺炎球菌感染症										1		1	2	
梅毒									1			1		
定点把握	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	75	92	204	75	349	795	322	312	688	312	1,034	2,668
		COVID-19	67	106	312	79	238	802	270	244	654	296	601	2,065
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症		1	1	1			3	2	1	2		8	13
			0.25	0.33	0.13			0.10						
	咽頭結膜熱		5	14	28	2	58	107	13	26	96	5	159	299
			1.25	4.67	3.50	0.50	5.80	3.69						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	19	122	14	76	235	23	49	388	49	188	697
			1.00	6.33	15.25	3.50	7.60	8.10						
	感染性胃腸炎		19	20	47	30	105	221	74	67	104	71	288	604
			4.75	6.67	5.88	7.50	10.50	7.62						
	水痘				2		2	4		1	9	5	18	33
					0.25		0.20	0.14						
手足口病		2		2		2	6	3	1	11		2	17	
		0.50		0.25		0.20	0.21							
突発性発しん		1		3	1	1	6	1	2	7	4	3	17	
		0.25		0.38	0.25	0.10	0.21							
ヘルパンギーナ		4					4	17			1	1	19	
		1.00					0.14							
流行性耳下腺炎										1	1		2	
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎		1				3	4	3		3		5	11
			1.00				1.50	0.57						
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）					1	5	6	19	8	21	37	53	138
	COVID-19による入院患者		2	6	1	8	16	33	17	31	14	24	52	138

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週(9月4日)～の集計です。

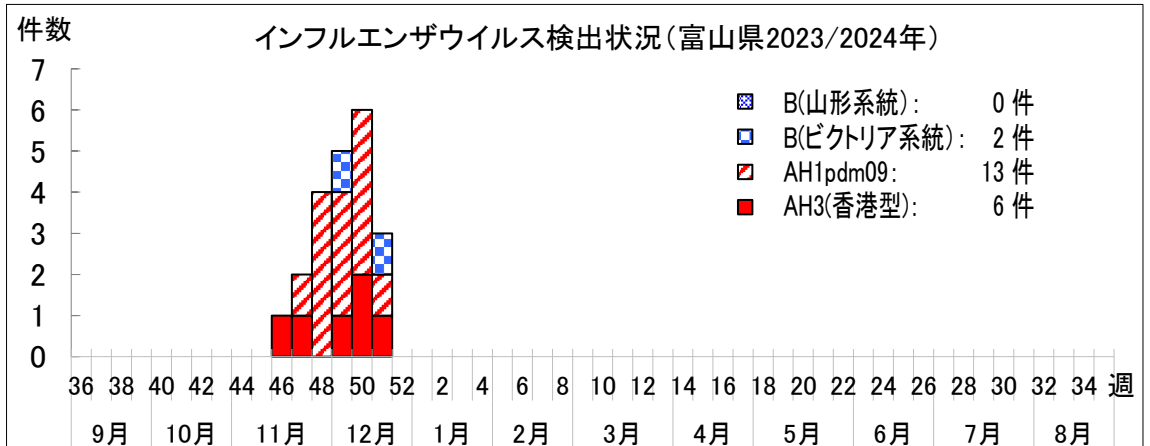
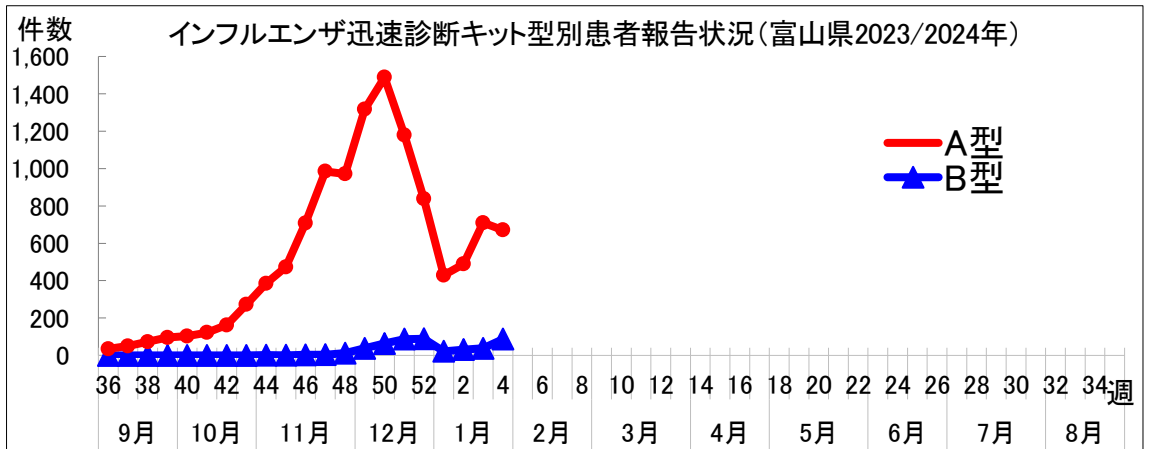
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が84.4%、B型が10.9%となっています。

第4週(1/22~1/28)：富山県 16.56人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	71	2	2	75
中部	5 / 5	55	31	6	92
高岡	13 / 13	172	20	12	204
砺波	7 / 7	71	4	0	75
富山市	16 / 16	302	30	17	349
富山県	47 / 48 ^{※1}	671	87	37	795
富山県累計(2023年36週~)		11,558	478	741	12,777

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が47か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





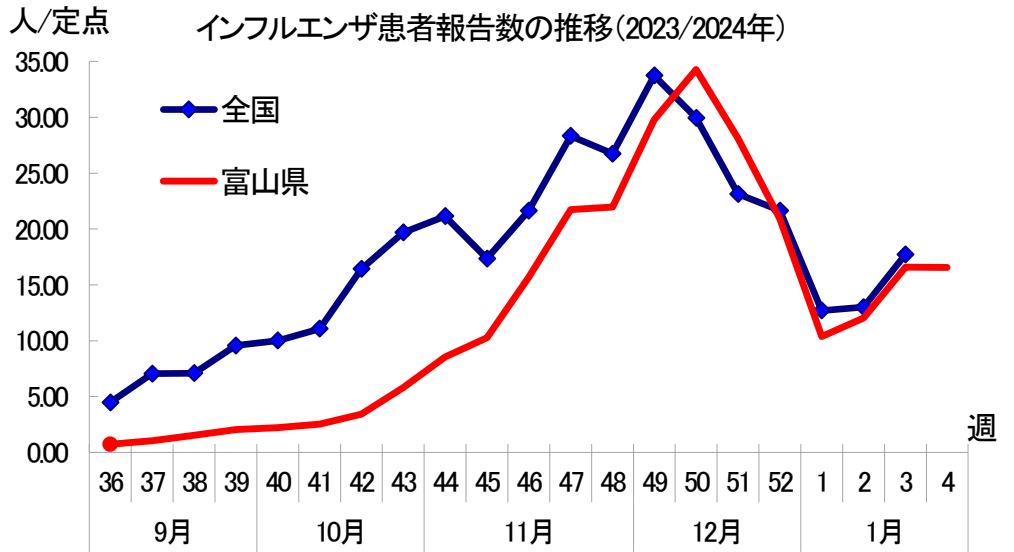
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第4週 (1/22~1/28) : 富山県 16.56 人/定点

新川 HC (10.71)、中部 HC (18.40)、高岡 HC (15.69)、砺波 HC (10.71)、富山市 HC (21.81)

全国の患者報告数は、第3週に17.72人/定点となり、第2週と比較して増加しました。

県内の患者報告数は、今週 16.56 人/定点となり、第3週からほぼ横ばいで推移しています。

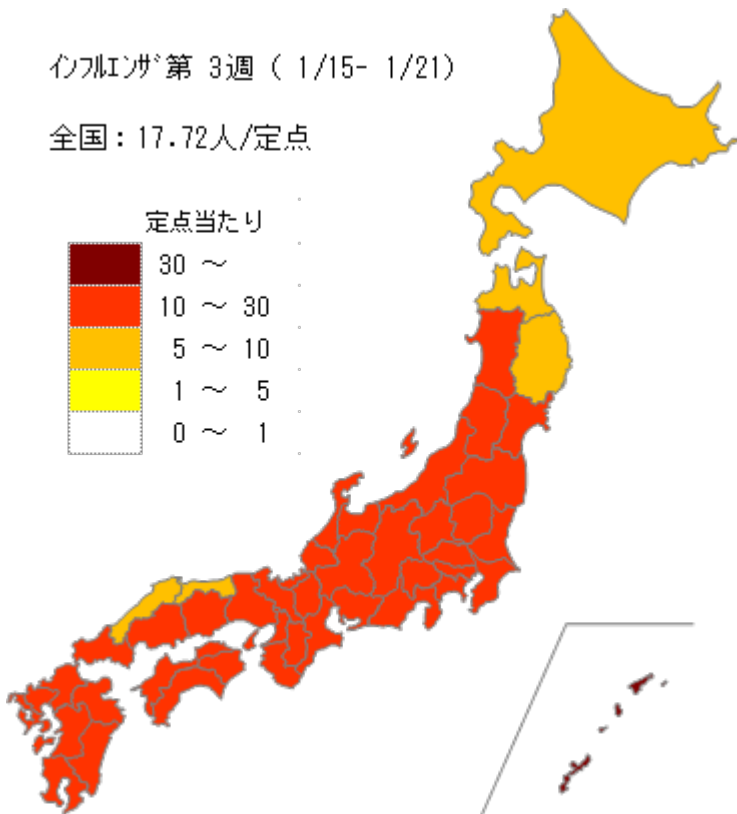
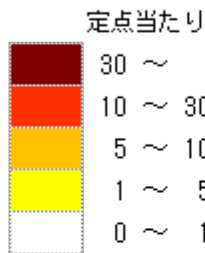


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第2週 (1/8~1/14)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 17.72 人となり、前週の 13.00 人より増加しました。42 都府県で前週より増加しています。

インフルエンザ第3週 (1/15- 1/21)

全国: 17.72人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	5.36 ↓	滋賀県	16.08 ↑
青森県	7.17 ↓	京都府	19.63 ↑
岩手県	9.39 ↓	大阪府	19.23 ↑
宮城県	17.35 ↑	兵庫県	19.48 ↑
秋田県	13.53 ↑	奈良県	21.85 ↑
山形県	15.02 ↑	和歌山県	15.49 ↑
福島県	16.44 ↑	鳥取県	8.76 ↓
茨城県	18.22 ↑	島根県	8.53 ↑
栃木県	18.26 ↑	岡山県	12.58 ↑
群馬県	14.42 ↑	広島県	11.15 ↑
埼玉県	22.56 ↑	山口県	17.37 ↑
千葉県	24.54 ↑	徳島県	15.57 ↑
東京都	16.24 ↑	香川県	13.28 ↑
神奈川県	18.71 ↑	愛媛県	20.13 ↑
新潟県	13.69 ↑	高知県	12.57 ↓
富山県	16.60 ↑	福岡県	25.85 ↑
石川県	13.44 ↑	佐賀県	21.97 ↑
福井県	16.59 ↑	長崎県	19.60 ↑
山梨県	19.05 ↑	熊本県	20.86 ↑
長野県	13.03 ↑	大分県	20.74 ↑
岐阜県	14.38 ↑	宮崎県	27.81 ↑
静岡県	15.02 ↑	鹿児島県	20.43 ↑
愛知県	22.71 ↑	沖縄県	32.33 ↑
三重県	17.94 ↑	全国	17.72 ↑